

表2-3 教員の地位及び職務からみた構成 (1999年)

地位		Professors	Senior Lecturers & Researchers	Lecturers	Researchers & Other grades
計	135,750人	12,480	23,300	49,450	50,530
	フルタイム (113,790)	11,670	21,510	41,670	38,950
	[男/女]	[10,310/1,360]	[16,530/4,980]	[26,260/15,410]	[23,470/15,480]
	パートタイム(21,960)	810	1,790	7,780	11,580
	[男/女]	[730/80]	[1,150/640]	[3,370/4,410]	[5,360/6,220]
	構成比 100 %	9.2	17.2	36.4	37.2

職務		教育&研究	研究中心	教育中心
計	135,750人	81,510	41,390	12,850
	フルタイム (113,790)	71,860	35,080	6,860
	パートタイム(21,960)	9,650	6,310	5,990
	構成比 100 %	60.0	30.5	9.5

出典：HESA *Reference Volume Resources of Higher Education Institutions 1999/2000*, Table 14, 15.

## 1-2. 高等教育財政

### 1-2-1. 高等教育機関の財源

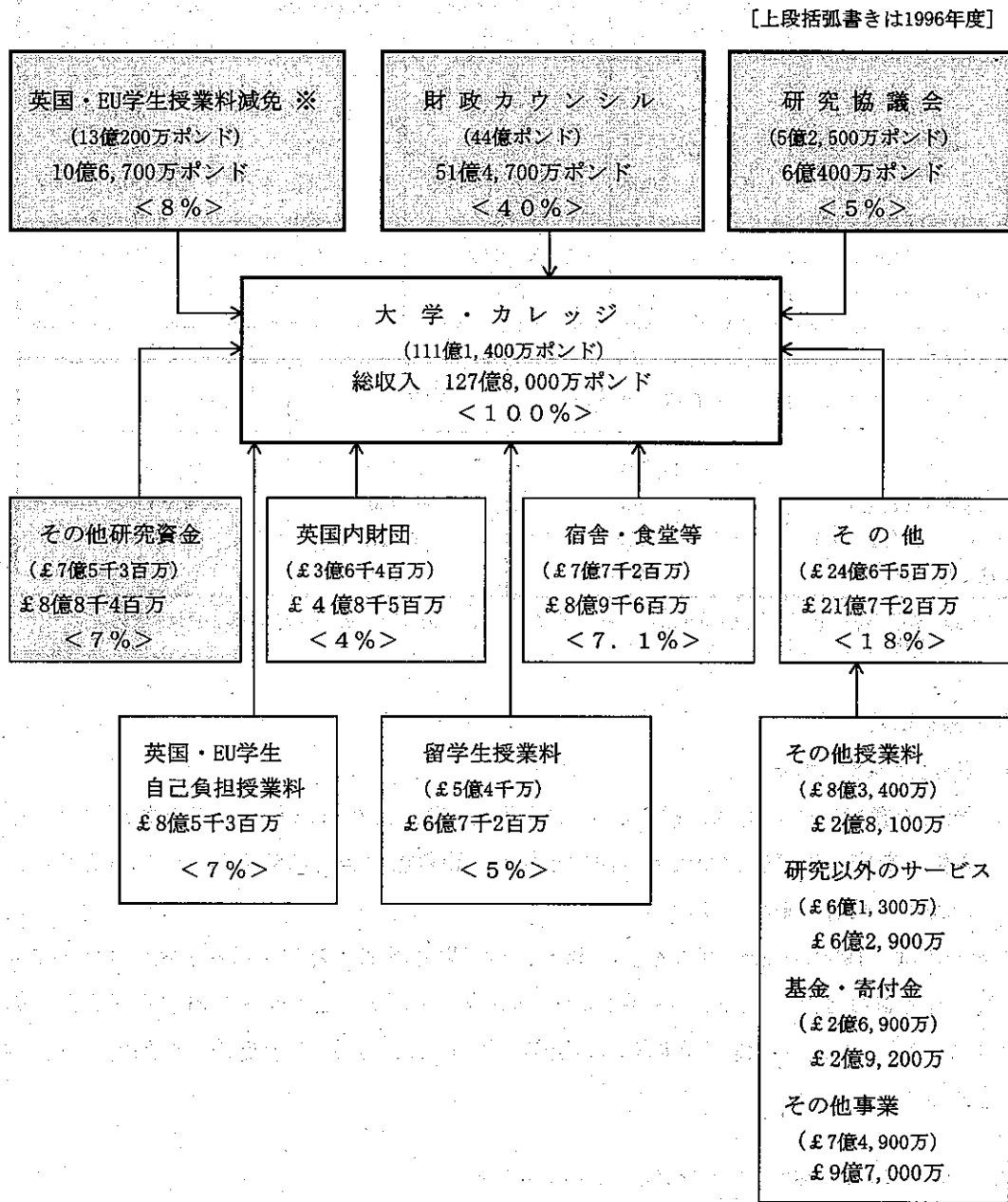
高等教育の費用については、従来から大部分が公費により負担されてきたが、サッチャー政権以降、政府の高等教育費支出が抑制されて公費負担の割合は減少しつつあるものの、依然その過半を政府が負担している。

具体的には、1999/2000年度の場合、全英の高等教育機関の総収入は約128億ポンドであり、このうち財政カウンスルの交付金が51億ポンド（40%）、その他政府機関の資金が26億ポンド（20%）、非政府機関（授業料、産業界、財団法人等）からの資金が51億ポンド（40%）となっている。

### 1-2-2. ファンディング機関とファンディングのシステム

高等教育機関への交付金の配分に当たって、政府はガイダンスやプライオリティーを設定することはあるが、個々の高等教育機関への具体的な補助金の配分は、原則として財政カウンスルが行う。イングランドの高等教育機関については、HEFCE (Higher Education Funding Council for England)、スコットランドはSHEFC (Scottish Higher Education Funding Council)、ウェールズはHEFCW (Higher Education Funding Council for Wales) である。北アイルランドについては、NIHEC (Northern Ireland Higher Education Council) という組織があるが、これは助言機関であり、補助金配分は北アイルランド教育省 (Department of Education Northern Ireland : DENI) が行う。

図2-1 英国高等教育機関の主要収入構造 (1999年度)



※ 地方教育当局を通じて支給されていた給付制奨学金（名目上の授業料分）は、1998年9月以降に大学に入学した学生には適用されず、学生自身が約1,000ポンド（実際に教育に要する経費の4分の1相当額）を負担することとなった。（ただし、家計の所得水準に応じて授業料の減免が行われ、98年度の場合、実際には負担額全額を支払った者[36%]、一部を免除された者[20%]、全額免除された者[44%]、であった。）

出典：HEFCE *Higher education in the United Kingdom* 01/56 (2001)

なお、英国は、イングランド、ウェールズ、スコットランド及び北アイルランドの4つの地域 (country) からなる連合王国であり、それぞれ特色のある教育制度を持っている。本稿ではこのうちイングランドの高等教育を主たる対象として考察するが、その主たる理由としては、一つに、英国大学の大半がイングランド集中している。また、データ・情報が比較的入手しやすい点という調査研究上の便宜がある。さらに、初等中等教育制度に比べて高等教育は、政策的な地域差は少なく、教育プログラムなどの相違はあるものの、設置形態や財政のあり方など基礎的な制度についてはほぼ連合王国を通じて共通しているとみることができる。